

	<p>率・出生率は向上し、全世界ですでに 800 万人以上の児が出生しています。さらに難治性不妊症に対する治療法の開発として、未熟卵子の培養における成熟誘導(IVM)、卵巣組織の凍結保存が進行しています。</p> <p>本邦では 1982 年に東北大学で最初の体外受精による出産が報告されました。現在、技術的にも人口あたりの実施数に関しても本邦は生殖補助医療の先進国と位置づけられています。国内での実施件数に関しては、日本産科婦人科学会の集計したデータによると 2020 年における実施件数は 44 万周期を超えます。また、出生児数は年間 6 万人、累積で 76 万人以上にのぼり、本法は国内において不妊治療として定着しています。同学会はこれ以外にも「臨床・研究遂行上倫理的に注意すべき事項に関する会告」を公開しており、本学生殖医療センターもこれら見解およびガイドラインに従って、生殖補助医療の施設登録および報告を実施しています。</p> <p>本研究では、本学生殖医療センターで生殖補助医療を実施した症例において、診療録を用いて、採卵数、受精率、妊娠率、着床率、生児獲得率と年齢やホルモン値との関係など、その有用性を検討します。</p>
<p>個人情報の取扱い</p>	<p>結果は学会に報告します。学会あるいは医学論分に発表される場合があります。それらの際に個人情報が漏洩することはありません。</p>
<p>本研究に関する連絡先</p>	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。なお、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>研究責任者：兵庫医科大学産科婦人科 教授 柴原 浩章 実務責任者：兵庫医科大学産科婦人科 講師 脇本 裕 住所：〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町 1-1 電話：0798-45-6481 対応時間： 月～金曜日は 8:30～16:45、土曜日（第 1・3）は 8:30～12:30</p>